

科学分析機器管理支援プロジェクト

全学の共同利用施設である科学分析支援センターには約50台の分析機器が設置されており、多くの学生、教職員が利用している。本プロジェクトでは、それらの分析機器について、利用講習、トラブルへの対応、メンテナンス、依頼測定などを行い、教育・研究の質と量の向上に貢献することを目的としています。

<主な業務内容>

分析機器の利用講習

1回あたり1～3名の受講者に対して、実際に分析機器を操作してもらいながら講習を行っています。

260件（2024年度実績）

トラブルへの対応

分析機器自体の異常や利用者の操作ミスなどによる急なトラブルに迅速に対処しています。

79件（2024年度実績）

分析機器のメンテナンス

分析機器の性能を維持するために定期的なメンテナンスを行っています。

82件（2024年度実績）

依頼分析測定

学内外から分析の依頼を受け付けています。

学内484件 学外137件（2024年度実績）



総合技術支援センター



学内排水分析支援プロジェクト

埼玉大学から教育・研究活動を通じて排出される排水が基準値を超過していないかを確認するために、定期的に排水分析を行っています。大学の最終放流口から排水を採水し、pH、水温、揮発性有機化合物などの項目を測定しています。また、これらの測定結果を毎月さいたま市へ報告しています。

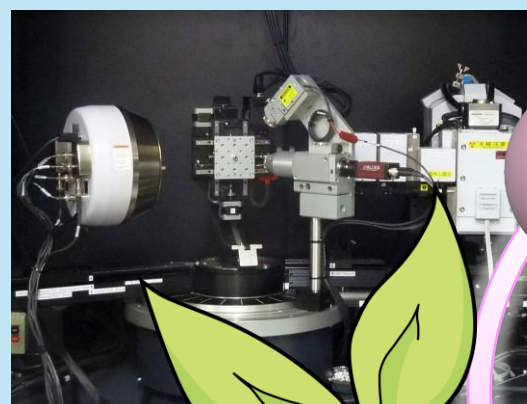
3D-Designプロジェクト

教育・研究支援及び地域貢献活動を目的として、3Dモデル設計からレーザー加工機、3Dスキャナや3Dプリンターによる造形などを活用した統合型サービスを提供しています。さらに、本学イノベーションセンター主催の「3D-CAD&3Dプリンター研修」での講習会を担当するなど全学支援活動を行っています。

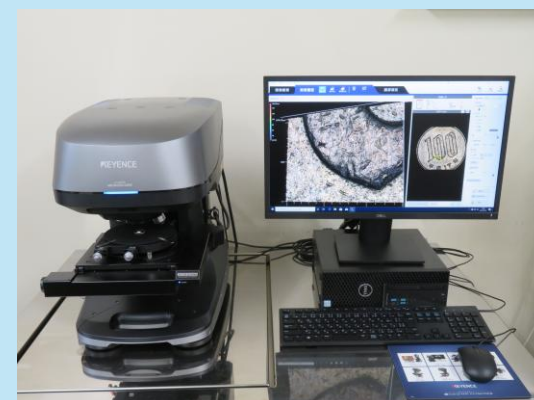


情報メディア基盤センター支援プロジェクト

キャンパスにおける安定したネットワーク環境の提供は極めて重要です。本プロジェクトでは情報メディア基盤センターが管理する各種LANのほかに、情報倫理教育システムなどの運用について、その管理補助・トラブル対応などを通じて学内ネットワークの安定運用をサポートしています。

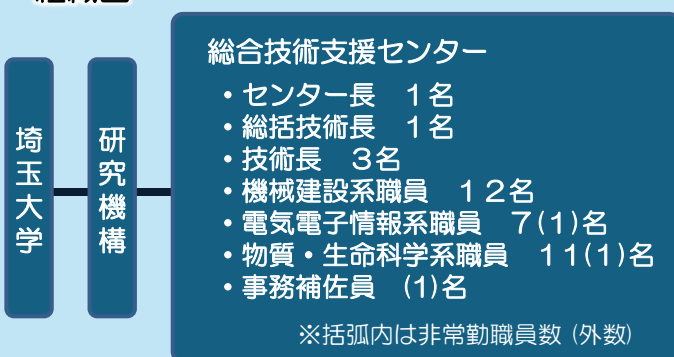


埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん

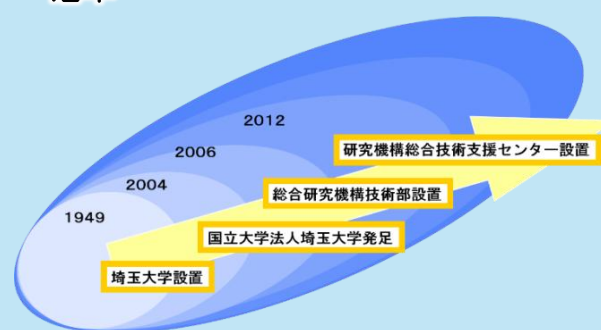


総合技術支援センター 概要

組織図



沿革



【問い合わせ先】 研究機構・総合技術支援センター
内線：734201 E-mail：office@tsd.saitama-u.ac.jp
URL：https://www.tsd.saitama-u.ac.jp



令和7年9月発行



センター長からのメッセージ

総合技術支援センターでは、埼玉大学の教育・研究活動や地域貢献活動に対して、様々な専門的かつ技術的なサポートを行っています。教育・研究に必要な機械器具や電子回路の設計と試作、化学実験用ガラス器具の作製や作製技術の講習、3Dプリンタによるモデル作製や、それらの相談を受け付けています。さらに、情報メディア基盤センターのサポートや大学のネットワークの保守、広報のためのホームページ作成と運営等、IT関係の支援業務も行っています。これ以外にも、毒劇物の登録などの安全管理業務や、科学分析支援センターの分析装置の管理・運用等、高い専門性と技術力を必要とする業務を担当しており活動は大学内の多種多様な分野に及んでいます。また、大学内で得られた知識や技術を利用して、学外に対しても地域貢献活動を行っています。たとえば、県内の高校を対象とした実験用ガラス器具作製の講習会や、理科教育の支援、小学生を対象とした「ものづくり教室」等を開催しています。教育・研究に関することで技術支援が必要な場合は、遠慮なくお問合せください。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



センター長
数理電子情報部門
教授 金子裕良

総括技術長からのメッセージ

当センターは、学内の教育・研究活動を技術面から支えることを目的に、各分野の技術職員が連携しながら、さまざまな技術支援業務を行っています。また、技術の高度化・効率化を図るとともに、技術職員の資質向上と専門性の深化にも力を入れて取り組んでいます。このような活動の一環として、2025年9月4日～5日に、当センター主催で「2025年度 埼玉大学 機器・分析技術研究会」を開催いたします。この研究会は、全国の国立大学、大学共同利用機関、工業高等専門学校などに所属する技術系職員が一堂に会し、日頃の取り組みや課題について発表・議論を行うことで、技術の研鑽と交流を深める貴重な機会となっています。

私たちは、より幅広い場面で質の高い技術支援を提供できるよう、今後も技術力の向上と情報共有の促進に継続して取り組んでまいります。



総括技術長
徳永 誠

プロジェクト活動紹介

総合技術支援センターでは、各分野において専門的な知識や技術を有する技術職員でグループを結成し、全学への支援・地域貢献を目的として活動しています。

ものづくり教室プロジェクト

市内在住の小学生を対象に、学内外で夏休みものづくり教室を開催しています。校内イベントは低学年と高学年向けのテーマで参加者を募り、それぞれ午前と午後で1回づつ行い、学外イベントは事前に児童センターに出向き、作製したい作品を打ち合わせ、参加者を募り開催しています。



全学広報支援プロジェクト

全学広報支援プロジェクトは、大学からの情報発信が効率的かつ効果的に行われることを目的とし、技術的支援を通じて全学的な広報活動の活性化を推進しています。Webサイトの構築や保守運用、セキュリティ対応などお困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

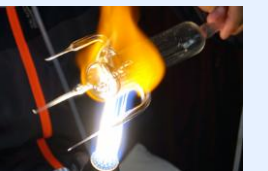
安全管理プロジェクト

安全管理プロジェクトでは、埼玉大学における安全管理の支援を目的として活動しています。主な活動内容は、薬品管理システムの運用支援、学生実験における安全教育、ヒヤリハット事例の収集と公開、「化学物質の安全管理かわら版」の定期発行などです。



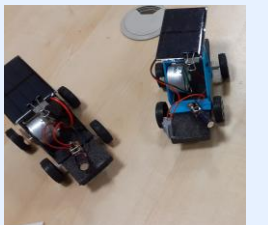
ガラス細工技術支援プロジェクト

ガラス細工技術を活かし、各種実験器具や真空ラインの作製・修理、学生実験での酸素バーナー講習、工学部オープンラボでの実演や作品展示を実施しています。地域貢献活動として県内高校教員・生徒向けの講習会や出張授業を開催し、技術の普及に努めています。



電気工作ショッププロジェクト

電気・電子工作の技術を通して、大学全体の教育・研究活動を支援することを目的としてメンバーそれぞれの幅広い経験・技術で、教育支援、研究用実験装置の製作などを行っています。電気工作ショップでは基板加工機を所有しており、依頼に合わせてオリジナル電子回路用基板を作製することができます。また、地域貢献として電気工作イベントへの技術支援、省エネ関連で電力測定、安全衛生関連で電気火災対策などのご相談も受け付けております。



実習工場試作業務プロジェクト

当プロジェクトでは、研究や実験に必要な装置や試料の製作を請け負う『試作 依頼加工』業務を行っています。また、装置や試料の製作に関する技術的な相談や装置・機器の修理の相談も受け付けています。その他、学内のイベントで必要な装置や部品の相談や製作も受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

